

## 全知長 第11次3力年研究計画

1 研究主題(令和2年度全国研究大会が中止となったため、研究主題は1年ずつ順延とする。)

	第11次 研究主題
主題	共生社会の実現に向けて、 <b>豊かな人生を切り拓く力の育成を目指す学校経営の在り方</b>
令和元年	社会に開かれた教育課程の構築と特別支援学校の将来展望
令和2年	(全国大会中止)
令和3年	社会に開かれた教育課程の構築に向けた地域連携の在り方
令和4年	共生社会の実現に向けた知的障害特別支援学校経営の在り方

2 研究主題の設定理由について

特別支援学校知的障害教育校長会は、これまで「共生社会の実現に向けて、地域で豊かに生きていく力の育成を目指す学校経営の在り方」の研究主題を掲げ、平成28年度より3か年の研究を続けてきた。そして、地域で力強く生きることを重点におき実践研究を重ね、個別化と生活性を重視した教育の充実に努めてきた。我が国は、平成26年1月20日に、「障害者の権利に関する条約」を批准するとともに、「障害を理由とする差別解消の推進に関する法律」を制定し、平成28年4月より施行されることになった。今後、幼児児童生徒が障害の有無に関わらず、個として尊重され、全ての国民が共生する社会の実現に向けたインクルーシブ教育システムの構築の推進のため、特別支援学校はその役割と責任を果たすことが必要であり、その視点からの学校経営を推進することが重要である。さらに平成29年4月及び平成31年2月に新学習指導要領が公示され、これまで培ってきた知的障害教育のニーズに応じた専門性を発揮しつつ、社会に開かれた教育課程をキーワードに、資質・能力の育成や、社会との連携及び協働に向けた体制等の整備が急務となっている。

このように、我が国が目指す共生社会の実現に向けて、障害の有無に関わらず地域で豊かに生きていく力を育成するために、学習指導要領の改訂に合わせ、思考力・判断力・表現力の学力の三要素を大切に、個の視点からの連続性や、そのための組織の在り方や人材育成を推進し、開かれた教育課程を具体化していく実践が必要である。

以上により第11次研究計画主題を設定する。

3 分科会の研究主題と各年度の主題(各年度の主題は1年ずつ順延とする。)

学校経営	共生社会の実現に向けた特別支援学校経営の在り方	
	元年	共生社会の実現に向けたカリキュラム・マネジメントの課題
	3年	共生社会の実現に向けたカリキュラム・マネジメント
	4年	共生社会の実現に向けたカリキュラム・マネジメントの評価と改善
教育課程 幼・小・中	社会に開かれた教育課程の編成と実施	
	元年	社会に開かれた教育課程の構築に向けた課題
	3年	社会に開かれた教育課程と地域連携
	4年	共生社会の実現と社会に開かれた教育課程
教育課程 高等部	社会に開かれた教育課程の編成と実施	
	元年	社会に開かれた教育課程の構築に向けた課題
	3年	社会に開かれた教育課程と地域連携
	4年	共生社会の実現と社会に開かれた教育課程

キャリア教育	豊かな人生を切り拓く力を育むキャリア教育の在り方	
	元年	豊かな人生を切り拓く力の礎を築くキャリア教育の課題
	3年	豊かな人生を切り拓く力を育むキャリア教育の実践
	4年	豊かな人生を切り拓く力を育むキャリア教育への提言
小・中・高への支援	地域との連携強化を目指すセンター的機能の在り方	
	元年	学び合いのある交流及び共同学習
	3年	高等学校支援の実際と今後の在り方
	4年	地域への支援の充実
関係機関との連携	インクルーシブ教育システムの充実に向けたネットワークの形成	
	元年	知的障害教育におけるネットワーク構築に向けた課題整理
	3年	地域との連携によるネットワーク構築の実践
	4年	多様な学びの場の充実に向けた提言
専門性向上	知的障害教育のニーズを踏まえた専門性と人材育成	
	元年	知的障害教育における人材育成上の課題
	3年	専門性の向上を目指したO J Tシステムの開発・充実
	4年	これからの知的障害教育を支える人材育成への提言
多様な障害への指導と支援	障害の重度・重複化、多様化等に対応した指導と支援の在り方	
	元年	障害の重度・重複化、多様化に対応した指導と支援の課題
	3年	障害の重度・重複化、多様化に対応した指導と支援の充実
	4年	障害の重度・重複化、多様化に対応した指導と支援への提言